

ゲムシタビン+TS-1療法(胆道)

外科 管理番号 D302

処方医:

適応: 胆道癌

2週投与、1週休薬を1コースとする

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
ゲムシタビン	●							●													
TS-1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

[投与スケジュール] (_____ クール目)

DAY 1 (_____ 月 _____ 日) DAY 8 (_____ 月 _____ 日)

薬剤名	投与量
生食100mL デキサート [30分 点滴静注]	1瓶 6.6mg
生食100mL ゲムシタビン1000mg/m ² [30分間 点滴静注] [炎症性]	1瓶
生食20mL [フラッシュ]	1管

24Gにてルート確保

[DLF]

ゲムシタビン

骨髄抑制(WBC、PLT)

TS-1

骨髄抑制

DAY 1 (_____ 月 _____ 日) ~ DAY 14 (_____ 月 _____ 日)

薬剤名	投与量
TS-1 60mg/m ² (内服)	2x

[適正使用基準]

1. PS (Performance Status)が0~2である
2. 胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎または肺繊維症がない
3. 胸部への放射線療法を施行していない
4. 重症感染症を併発していない

5. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。				
血液一般検査	WBC	4000~12000		
	Neut	2000 ≤		
	PLT	10万 ≤		
	HGB	9.5 ≤		
血清生化学検査	AST/ALT	正常値上限の2.5倍以下		
	Tbil	正常値上限の2倍以下		
	Cr	正常値上限以下		

[今回の投与量]

[累積投与量]

_____ mg _____ mg
 _____ mg _____ mg

[骨髄抑制を考慮した投与量の調整]

GEM: 投与延期: 当日のWBC2000未満、またはPLT7万未満の場合

[TS-1]

Ccr (mL/min)	80 > 以上	50-80	30-50	<30
TS-1	減量なし	20%減量	30%減量	中止

[CBC・腎機能を考慮したTS-1の投与量の調節]

(慎重投与)

(投与不可)

PS	PS3	PS4
WBC	2000 ≤ <3000、12000 ≤	<2000
Neut	1000 ≤ <2000	<1000
PLT	7.5万 ≤ <10万	<7.5万
HGB	8.0 ≤ <9.0	<8.0
AST	<150	150 ≤
ALT	<150	150 ≤
Tbil	<3.0	3.0 ≤
Cr	<1.5	1.5 ≤
Ccr(推定値)	50 ≤ <80 必要に応じて1段階減量投与量から開始 30 ≤ <50 1段階以上の減量投与量から開始	3 30

[DLFを除く重大な副作用]

《ゲムシタビン》

- ・間質性肺炎〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・アナフィラキシー様症状〔呼吸困難等〕
- ・心筋梗塞〔胸痛・呼吸困難等〕
- ・うっ血性心不全〔息苦しさ・むくみ・胸痛等〕
- ・肺水腫〔呼吸困難・チアノーゼ等〕
- ・気管支痙攣〔呼吸困難・喘鳴等〕
- ・成人呼吸促迫症候群(ARDS)〔呼吸困難等〕
- ・腎不全〔むくみ・尿量低下等〕
- ・溶血性尿毒症症候群〔紫斑・むくみ・尿量低下等〕
- ・皮膚障害〔紅斑・水疱・落屑等〕

《TS-1》

- ・脱水症状〔激しい下痢等〕
- ・重篤な腸炎〔激しい腹痛・下痢等〕
- ・間質性肺炎〔咳嗽・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・重篤な口内炎、消化管潰瘍、消化管出血、消化管穿孔〔腹痛・嘔吐・吐血・下血等〕
- ・急性腎不全〔むくみ・乏尿等〕
- ・皮膚粘膜症候群、中毒性表皮壊死症〔紅斑・発熱・関節痛・下痢等〕
- ・白質脳症〔歩行時のふらつき・四肢末端のしびれ感・舌のもつれ感等〕
- ・臭覚脱失